

- 問1 894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されましたが、その背景として当時の中国や東アジアの情勢を正しく説明しているものを選びなさい。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 中国で仏教が弾圧され、日本が求める最新の仏教文化を学ぶことが不可能になったため | 2. モンゴル帝国の勢力が拡大し、日本に対して服属を求める圧力が強まったため | 3. 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため | 4. 平氏による日宋貿易が盛んになり、公的な使節を送らなくても物資が十分に入るようになったため |
|--|--|---|---|
- 問2 7世紀前半の東アジアでは、中国を統一した唐が、朝鮮半島の北部に位置する国を攻撃するなど、軍事的な緊張が高まっていました。このような国際情勢の変化は、日本において強力な中央集権国家を目指す大化の改新が起こる大きな要因となりました。このとき、唐の攻撃を受けた朝鮮半島北部の国名を答えなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 新羅 | 2. 渤海 | 3. 百濟 | 4. 高句麗 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問3 7世紀後半、朝鮮半島において唐と結ぶことで百済や高句麗を滅ぼし、半島を初めて統一した国を選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|------|-------|
| 1. 百濟 | 2. 高句麗 | 3. 隋 | 4. 新羅 |
|-------|--------|------|-------|
- 問4 663年に朝鮮半島で行われた白村江の戦いにおいて、百済の復興を支援した倭（日本）の軍勢が唐・新羅の連合軍に大敗したのち、大和政権が日本本土への侵攻に備えて講じた防衛策として最も適切なものはどれですか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 平安京を守るために、検非違使を設置して治安維持にあたらせた。 | 2. 元寇の襲来に備えて、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いた。 | 3. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた。 | 4. 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。 |
|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問5 飛鳥文化を象徴する建造物の歴史的意義について述べた文として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本で初めて仏教文化が花開いた時期を象徴し、世界最古の木造建築として当時の高度な建築技術を今に伝えている。 | 2. 平安京への移都に伴って創建され、山にこもって厳しい修行を行う新しい仏教の拠点となった。 | 3. 藤原氏の権勢を示す貴族文化を象徴し、極楽浄土への往生を願う浄土信仰の広まりを反映している。 | 4. 聖武天皇が国家の安泰を願って全国に建立を命じた寺院であり、シルクロードを経由した国際色豊かな文化を表している。 |
|--|--|--|--|
- 問6 日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。 | 2. 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。 | 3. 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。 | 4. それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。 |
|---|---|--|--|
- 問7 701年に制定された、刑法にあたる「律」と、行政や民法などの決まりにあたる「令」を組み合わせた、律令国家としての仕組みを完成させた法典の名前を答えなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|-----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 養老律令 | 3. 大宝律令 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|---------|---------|-----------|
- 問8 7世紀前半に法隆寺の造営や釈迦三尊像の制作が行われた背景として、当時の政治的な動きを説明したものとして適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 遣唐使が廃止され、日本独自の文化を形成しようとする機運が貴族の間で高まった。 | 2. 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。 | 3. 班田収授法によって税収が安定したため、大規模な国立の寺院を全国に建立した。 | 4. 白村江の戦いでの敗北後、国防を強化するために寺院を砦として活用しようとした。 |
|---|--|--|---|
- 問9 大化の改新において、土地や民をそれまで支配していた有力な豪族から取り上げ、国家（天皇）が直接支配するものとした制度を何と呼びますか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 1. 公地公民 | 2. 班田収授の法 | 3. 守護・地頭 | 4. 版籍奉還 |
|---------|-----------|----------|---------|
- 問10 白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に敗れた日本は、大陸からの侵攻に備えて国防を強化しました。その際、九州の大宰府を守るために築かれた土塁と堀の名称、および九州沿岸の警備についた兵士の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|-----------------------|--------------------------|----------------------|
| 1. 山城（やまじろ） — 武士（ぶし） | 2. 水城（みずぎ） — 防人（さきもり） | 3. 多賀城（たがじょう） — 健児（こんでい） | 4. 屋島城（やしまのき） — 東山道兵 |
|----------------------|-----------------------|--------------------------|----------------------|
- 問11 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）は、仏教や儒教の教えを取り入れた「十七条の憲法」を制定しました。この法が制定された主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 遣隋使の派遣を中止し、日本独自の国風文化を発展させるための指針とするため | 2. 大宝律令の内容を補い、農民に対して厳しい罰則を設けて年貢を確実に徴収するため | 3. 最澄や空海が中国から持ち帰った新しい仏教を広め、地方の豪族を統制するため | 4. 天皇の命令に従うことなど、政治に関わる役人の自覚を促し、国家の体制を整えるため |
|---|---|---|--|
- 問12 天智天皇が政治の拠点として定めた場所は、現在の滋賀県にある琵琶湖付近に位置しています。この都の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| 1. 飛鳥浄御原宮 | 2. 難波宮 | 3. 大津宮 | 4. 藤原京 |
|-----------|--------|--------|--------|
- 問13 672年に起きた皇位継承をめぐる最大の内乱である壬申の乱において、天智天皇の子である大友皇子を破って即位した人物は誰か。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 聖武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 飛鳥時代における歴史的事項を記した年表において、672年に「壬申の乱」が起こったとの記載があります。この乱に勝利し、その後に即位して天皇中心の中央集権体制をさらに進めた人物は誰ですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 天智天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 天武天皇 | 4. 後三条天皇 |
|---------|---------|---------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため	9世紀後半の唐では、国内で反乱が相次ぐなど政治的な混乱が続いて衰退しており、日本が学ぶべき魅力が薄れていました。また、東シナ海を渡る航海は非常に命がけであったため、菅原道真は費用やリスクに対して得られるメリットが少ないと判断し、派遣の中止を提案しました。これがきっかけとなり、日本の独自の風土に合わせた国風文化が発展することになります。
問2	答え 4 高句麗	聖徳太子の死後、隋に代わって中国を統一した唐は、領土拡大のために朝鮮半島北部の高句麗へ繰り返し遠征を行いました。この強大な帝国の出現と軍事的圧力は、当時の日本にとって大きな脅威となり、国内の結束を固めて天皇中心の強力な国家体制を整える必要性を認識させました。こうした背景から、中大兄皇子らによって大化の改新が断行されることとなりました。
問3	答え 4 新羅	4世紀頃から高句麗、百済、新羅の3国が勢力を争う三国時代が続いていましたが、7世紀に唐と結んだ新羅が660年に百済、668年に高句麗を相次いで滅ぼしました。その後、新羅は共同で戦った唐の勢力も退け、676年に朝鮮半島の統一を成し遂げました。
問4	答え 4 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。	白村江の戦いでの敗北後、大和政権は唐や新羅による日本本土への報復的な侵攻を強く恐れました。そのため、対馬や九州北部に「防人（さきもり）」と呼ばれる兵士を配置し、大宰府の北側に「水城（みづき）」という巨大な土塁を、さらに周辺の山々に朝鮮式山城を築くことで、防衛体制を急ピッチで整えました。
問5	答え 1 日本で初めて仏教文化が花開いた時期を象徴し、世界最古の木造建築として当時の高度な建築技術を今に伝えている。	飛鳥時代には、聖徳太子らの手によって日本で最初の仏教文化（飛鳥文化）が栄えました。この時期に建立された法隆寺などの寺院は、現存する世界最古の木造建築物群として、大陸から伝わった高度な建築技術や仏教芸術の発展を現代に伝える重要な意義を持っています。
問6	答え 4 それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。	律令国家における「公地公民」の原則と、明治新政府による「版籍奉還」や「廃藩置県」は、どちらも土地と人民の支配権を中央へ集中させることを目的とした政策です。古代では豪族、近代では大名という、それまでの地方支配者の権利を否定し、中央政府が直接的に国民を統治し、税を徴収する仕組み（中央集権体制）を整えようとした点が共通しています。
問7	答え 3 大宝律令	唐の制度を手本として制定され、この法典の完成により、日本は天皇を中心に全国を統一的に支配する律令国家としての体制を整えました。
問8	答え 2 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。	当時の有力な政治指導者であった聖徳太子や蘇我馬子は、新しく伝来した仏教を積極的に受け入れ、それを国の統治の理念や新しい技術の導入に役立てようと考えた。この政治的な背景が、飛鳥文化という大規模な仏教文化の開花につながった。
問9	答え 1 公地公民	それまでの日本では、豪族がそれぞれ「部曲（かきべ）」や「田荘（たどころ）」と呼ばれる民や土地を私有していましたが、これを天皇が支配する公的なものへと改めました。これにより中央集権化が進み、税（租・庸・調）を効率的に集めるための戸籍作成や、口分田を割り当てる班田収授の法の土台となりました。
問10	答え 2 水城（みづき） ― 防人（さきもり）	大敗を喫した天智天皇は、唐や新羅が日本へ攻めてくることを恐れ、九州の政治の拠点であった大宰府の北側に巨大な堤防である「水城」を築きました。また、瀬戸内海沿いに朝鮮式山城を築いて防衛線を整え、東国などから集められた「防人」を九州北部の沿岸警備に配置しました。
問11	答え 4 天皇の命令に従うことなど、政治に関わる役人の自覚を促し、国家の体制を整えるため	聖徳太子は、豪族たちが権力を争っていた状況を改善し、天皇を中心とした中央集権国家を築くことを目指しました。そのため、役人（官吏）に対して「和を以て貴しとなす」という儒教的な協調精神や、仏教を深く敬うこと、天皇の詔（みことり）には必ず従うことといった、政治に携わる者としての道徳的な規範を示したのがこの法です。
問12	答え 3 大津宮	中大兄皇子は、唐や新羅の侵攻に備えた防衛体制を整える中で、都をそれまでの飛鳥から滋賀県の琵琶湖近くにある大津宮（近江大津宮）へと移しました。この地で天智天皇として即位し、日本初の全国的な戸籍の編纂や、近江令と呼ばれる法令の制定など、国家体制の整備を進めました。
問13	答え 2 天武天皇	天智天皇の弟である大海人皇子は、壬申の乱で勝利した後に飛鳥浄御原宮で即位した。これ以降、それまでの「大王（おおきみ）」という称号に代わり「天皇」の称号が本格的に使われ始めたと考えられており、中央集権化が急進した。
問14	答え 3 天武天皇	672年に起こった壬申の乱は、天智天皇の死後にその弟の大海人皇子と、子の大友皇子が皇位をめぐる対立した古代最大の内乱です。この戦いに勝利した大海人皇子が天武天皇として即位しました。天武天皇は、飛鳥浄御原令の編纂に着手したり、国史（古事記・日本書紀）の編纂を命じたりするなど、天皇の権力を絶対的なものにするための政策を次々と打ち出しました。